

3月25日正午必着

明石春浦先生書



野花啼鳥亦欣然(蘇軾)

野山には小鳥の楽しく  
さえずる聲が聞かれる。

明石幸子書



自君之出矣  
君心慙 月皎 日如暎

鸞鏡不曾開  
皎々照妝臺

(顧若璞)

あなたが旅立たれてからというものは、美しい鏡もかつて開いたことがない。  
あなたを恋い思うにつけあなたは玉の月のよう。月が皎々として化粧台をて  
らすように、せめてお顔なりと見せて頂きたいもの。

細谷春誠先生書



条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

幾處林鳩帶雨啼。掃葉煮泉丹井暖 (陳兆命)

林鳩は雨を呼んで啼く。葉を掃つて石泉をくんで茶をたてる。

光風動春 (溫日升)

光風春を動かす。

光風は雨後に日出て吹く風。その爲め草木が皆光るによりかくいう。

渡水復渡水 看花還看花  
春風江上路 不覺到君家 (高啓)

水を渡り復た水を渡り 花を看る還た花を看る  
春風江上の路 覺えず君が家に到る

行く行く春の景色を賞しながらおぼえず隠者たる知人の家まで行つたのである。

送人尉黔中 (周繇)

人の黔中に尉たるを送る 周繇

盤山行幾驛 水路復通巴  
峽漲三川雪 園開四季花  
公庭飛白鳥 官俸請丹砂  
知尉黔人後 高吟採物華

山を盤りて行くこと幾駅ぞ 水路復た巴に通ず  
峽は漲る 三川の雪 園は開く 四季の花  
公庭 白鳥飛び 官俸 丹砂を請う  
知る 黔人に尉たるの後 高吟して 物華を採るを

みづつみの氷はとけてなほ寒し 三日月の影波にうつるふ (島木赤彦)

半紙部規定課題A

3月25日正午必着

呉 古  
煙 樹  
積

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

3月25日正午必着

行書

古樹積  
吳煙

隸書

古樹積  
吳煙

明石春浦先生書

草書

古樹積  
吳煙

行草書

古樹積  
吳煙

回れる塘には、越の地の水が分れて流れており、年古りた樹々には、吳の地の煙がいつぱいにむらがる  
竹は地を掃うかのように揺れて、席を敷くように催促するし（池塘のほとりには）蘿が垂れ下り、船をつなぐのを待つ  
ているかのよう

鳥ははじけたばかりの栗の実をのぞきこみ、亀はなかなば傾いている蓮の葉の上にあがる  
帰ることを忘れてしまうこの庭園をしばしば訪れるたびに、俗事に束縛されているこの身を思い、深いためいきをつ

秋日過徐氏園林 包佶

回塘分越水

古樹積吳煙

掃竹催鋪席

垂蘿待繫船

鳥窺新罇栗

龜上半敬蓮

屢入忘歸地

長嗟俗事牽

秋日 徐氏が園林に過る

包佶

回塘 越水を分ち

古樹 吳煙を積む

掃竹 席を鋪かんことを催し

垂蘿 船を繫がんことを待つ

鳥は窺う新たに罇けし栗

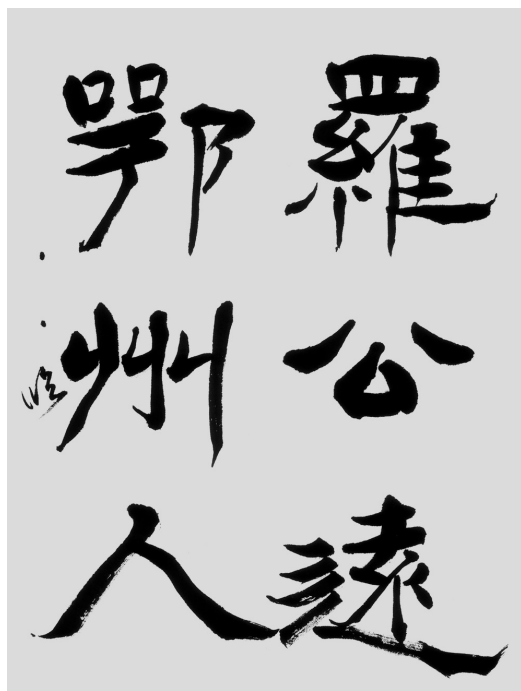
龜は上る 半ば敬つ蓮

屢く帰ることを忘るる地に入り

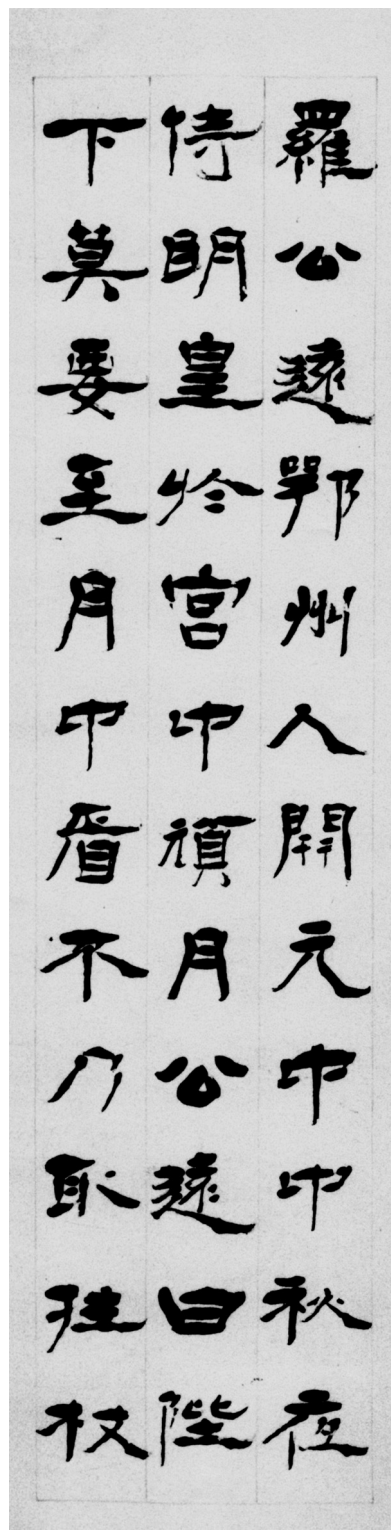
長く嗟す 俗事に牽がること

（出典）  
朝日新聞社刊  
「三体詩」下より

3月25日正午必着



羅公遠鄂州人



羅公遠鄂州人。開元中。中秋夜侍明皇。於宮中禎月。公遠曰。陛下莫要至月中看不。乃取拄杖。

三浦士岳先生臨書

清 楊峴・隸書仙傳拾遺語四屏

楊峴（一八一九〜一八九六）は清代末期の書家で学者。字は見山、庸齋・藐翁などと号した。浙江省帰安の人で、咸豐五年（一八五五）に挙人の称号を与えられ、江蘇省常州・松江府知事にいたった。幼少より詩文を学び、晩年は官を去り、読書、詩書の生活を送った。

楊峴の書は、六十歳までは曹全碑をベースに柔軟な線を多用し、あまり波磔を強調しない特徴があったとされているが、六十歳を過ぎた頃から漢隸の典型とされる礼器碑・乙瑛碑などを主とした強烈に誇張した波磔の隸書の完成へと至ったといわれ、特に礼器碑に没頭し、適麗で変化に富んだ筆致をもって一家を成し、清代の北碑派に個性的で新しい書風を開いたといわれている。

この作品は楊峴七十二歳の作。

（春濤）



随風 (列子) 大勢に順応すること

△做書参考作品▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。



羅公遠鄂州人。開元中。中秋夜侍明皇。於(宮中頑月)。



し 姿  
せい 勢

中学一年

雨宮春聲先生書



かん 歓  
き 喜

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



けん  
研

きゅう  
究

小学五年

榎戸春龍先生書



そう  
創

い  
意

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



3月25日正午必着



藤田幸春先生書

しょう ねん  
少 年

小学三年



細谷春誠先生書

こう とう  
交 通

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

あ し 小学一年・幼年



森戸春濤書

七 色 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

かならず心が通じる	真心を持って話せば
-----------	-----------

小学五年

材を選び作文をかく	経験したことから題
-----------	-----------

小学六年

おとずれを感じる	里山の雪も解け春の
----------	-----------

中学

かしい想い出がよみがえる	ひなく形を見ているとなつ
--------------	--------------

一般(級位)

あたら夜の月と花とを同じくは心知れらむ人に見せばや	はつえれしむくにはるせばや
---------------------------	---------------

一般(段位)

あたら夜の月と花とを同じくは心知れらむ人に見せばや(源 信明)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可) また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

け	あ
	ら
ひ	れ
な	
ま	し
つ	ろ
り	ざ

幼年

ど	ち
り	か
で	ら
	づ
あ	よ
る	い
く	足

小学一年

顔	お
を	と
絵	う
に	と
か	の
い	よ
た	こ

小学二年

に	り
	よ
取	う
り	理
わ	を
け	小
る	皿

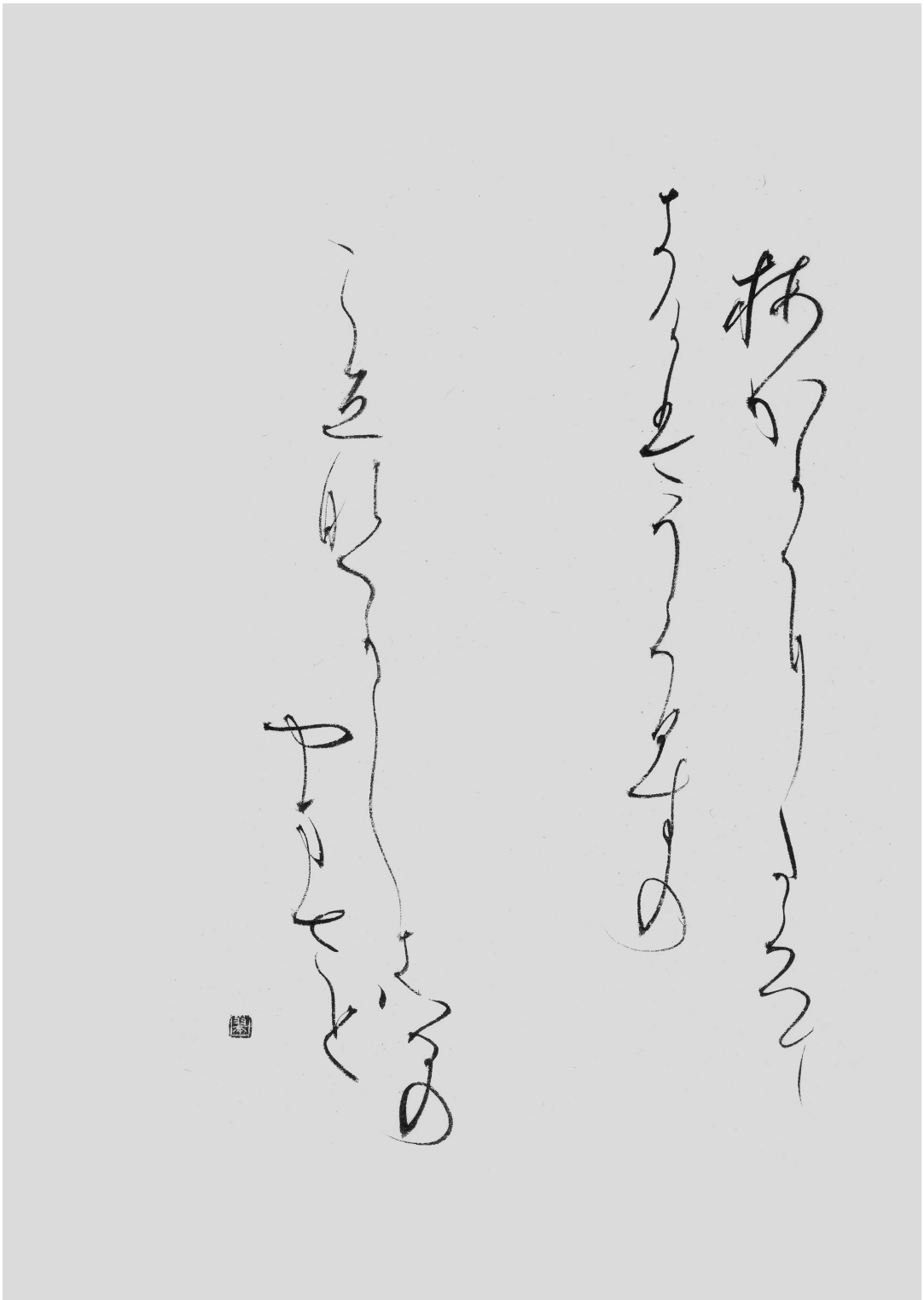
小学三年

ら	庭
しい	の
野	巢
鳥	は
が	こ
きた	に
	め
	ず

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



松永翠舟先生書

梅が  
かか  
可耳  
多た  
ぐへ  
てき  
支介  
盤盤  
うぐ  
日ひ  
すの  
こ糸  
惠那  
なつ  
可かし  
支き  
八は  
るの  
万や  
まさと  
(西行法師)